

感染症委員会報告

感染症委員会 委員長 渡邊 徹

令和3年5月18日に第18回感染症委員会を開催し以下について討議した。

感染症予防衛生隊令和4年度体制について

コロナ対応のため本来の研修ではなくOJTによって人的要件を満たし、期中に加入頂いた各社には軽症者宿泊療養施設(以下ホテルと記す)及び救急車の消毒に参加頂き、最終的に4年度に継続頂くのは下記29社となった。

当期の活動の大きな成果として連絡体制の整備がある。作業依頼から各社への手配については、ホテル、救急車、その他について指示・報告系統が異なるが、感染症別に編成したラインワークスが有効に機能し、どこから依頼がきたか、誰が対応したかについて即時に全員が共有できた。これを更に有効活用していくことによって各社の情報共有体制を強化したい。

また、株式会社奥田建物管理の奥田慎司社長が協会理事となり、感染症委員会副委員長

に就任された。これまでの感染症対策、とりわけ救急車対応については多摩地区を大きく支えて来られた奥田氏の参加の意味は大きい。これにより令和4年度感染症委員会は下記となった。

感染症委員会	
顧問	安居院 宣昭 理事 (国立感染症研究所名誉所員)
委員長	渡邊 徹 理事(株中央社)
副委員長	奥田 慎司 理事(株奥田建物管理) 富岡 稔(株銀座化成)
委員	石塚 裕一(株ヨシダ消毒) 内海 逸人(株環境衛生サービスセンター) 佐々木 健(アベックス産業株) 杉浦 彰彦(株イカリストリファーム) 新沼 順一(エーデル商事株) 本内 新(株シー・アイ・シー衛生営業所) 森 義行(株三共消毒) 松井 尚之(エコア株)

図2 感染症委員会

第1ブロック				第2ブロック				第3ブロック				第4ブロック				第5ブロック									
銀座化成株	イカリ消毒株新宿営業所	株東京三洋	株大正クエスト	株アベックス産業株	株三共消毒	株シェル商事株	(有)協栄消毒	株ネオ	808シテイ株	株ヨシダ消毒	株環境衛生サービスセンター	株ジェイビーサービス株	株東京企業株	株日本環境衛生株	株中村化学工業株	株中央社	株シマダ	株三幸	株アサヒビジネスプロデュース	株丸真カンボ	株エーデル商事株	株エコア株	株奥田建物管理	株深井消毒	株ミナト

図1 ブロック一覧

感染症委員会報告

コロナウイルス流行の変容

コロナ対応は2020年の武漢帰国者療養施設に端を発し足掛け3年を経過した。

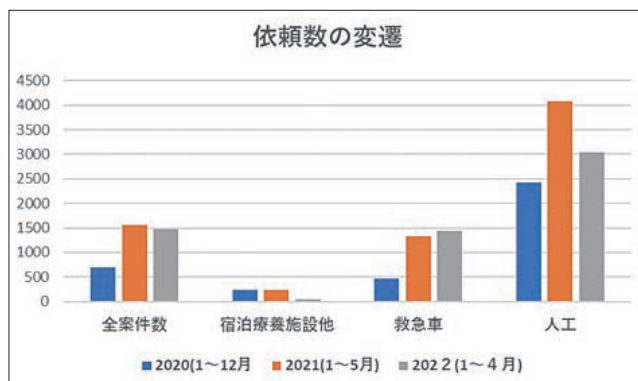


図3 依頼数の変遷

日常生活の感染防止対策が徹底、ワクチン接種が進んだことにより明らかにフェーズが変わった。当初は連日依頼があったホテルも自宅療養への移行により依頼数は減少した。救急車についても最大1日60台を超えていたものが、現在は多くて15台、平均4~5台に落ち着いている。また、かつては発表される感染者数に比例して依頼数が増減していたが、現在は直接的な反映はない。

これまで、見るからに重篤な患者さんの搬送、救急受付で受け入れが決まらず待機する救急車、搬送中止で自宅に返される患者さん等、様々な事態を目の当たりにしてきた。現在、見受ける限りでは現場に混乱はない印象を受ける。

コロナ流行の展望について、収束に向かっているのか、再拡大があるのか断言できる専門家はいな

い。委員会では、今後の展望として、現在程度の件数の依頼が継続するものと判断し体制の再編を協議した。

依頼受け付け、各社手配、報告について、現在のフローは「短期的な緊急事態」に対応するものであり、負担の集中はやむなしと認識し、司令塔は事務局と一部の委員が担ってきた。

その後、依頼件数が爆発的に増加するに伴い諸々の改変を経て現在に至るものの、依頼がこのような継続することは想定していなかった。今後は持続可能な体制づくりを図りたい。

サーベイランスの実施

例年実施している蚊の「広域サーベイランス」「重点サーベイランス」の令和4年度の担当社が決定した。ここ2年、3密防止のため集合して打ち合わせ、機材貸与を実施して来なかったが、当年はそれぞれ健康安全センターに集合、担当者より履行内容の確認があった。コロナに目を奪われていたが、今後入国制限が緩和されインバウンドの増加が見込まれる状況にあって、極めて重要な作業になることを再確認した。

広域サーベイランス			重点サーベイランス		
施設	施設名	調査会員(担当業者)	施設	施設名	調査会員(担当業者)
A	大井ふ頭中央海浜公園	㈱大正クエスト	A	代々木公園	㈱環境衛生サービスセンター
B	お台場海浜公園	㈱協栄消毒	B	日比谷公園	アベックス産業㈱
C	青山公園	イカリ消毒㈱	C	浜離宮恩賜公園	㈱東京三洋
D	谷中公園	㈱三共リメイク	D	戸山公園	㈱シマダ
E	染井公園	日栄商工㈱	E	上野恩賜公園	㈱シー・アイ・シー
F	石神井公園	ジェイ・ビー・シー・サービス㈱	F	駒沢オリンピック公園	㈱中央社
G	舎人公園	㈱三幸	G	光が丘公園	㈱ヨシタ消毒
H	砧公園	銀座化成産業㈱	H	猿江恩賜公園	㈱三共消毒
I	井の頭恩賜公園	日本環境衛生㈱	I	葛西臨海公園	シエル商事㈱
J	多摩動物公園	タケダ・サイエンス㈱			
K	狭山公園	深井消毒			
L	小山田緑地	エコア㈱			
M	八王子公園	エーデル商事㈱			
N	薬用植物園	エコア㈱			
O	神代植物公園	東京企業㈱			
P	瑞穂農芸高等学校	㈱奥田建物管理			

図4 サーベイランス一覧

蚊成虫防除演習について

技術委員会では2019年9月に実施した蚊成虫防除の演習の再度実施を企画している。

2014年8月、代々木公園で発生したデング熱対応以来、「蚊成虫防除」の事案は減少し広域防除の経験が少ない会員が増えており体制の弱体化が懸念される。感染症予防衛生隊員各社に広域防除の経験、動力噴霧機保有の有無をアンケート調査した結果、経験が多いとするもの、殆ど経験がないとするもの、それぞれ10社程度であることが判った。

そこで作業の習熟を図り発生に備えるため、技術委員会と共同し演習を実施するものとした。

計画では公園内を3ブロックに分け、習熟したチーム、経験値の少ないチーム、無処理区を設定し、予防衛生隊員は動力噴霧・及びB&Gによる噴霧処理を実施、技術委員会は準備、作業、撤収の管理、事前事後の補虫を担当し作業効率を検証する。今回の演習で作業手順の確認、技術力の向上と併せて発生した場合の各社への手配、集合に関する「机上演習」も実施したい。本原稿の作成時点では、新宿

御苑で実施の可否については打診中である。

感染症予防衛生隊研修会の開催

コロナピークを受け、対応チーム増強のため軽症者宿泊療養施設で2回のOJTを受講することで研修修了と見做し数社に参加頂いた。この方々は座学としての「感染症総論」を受講されておらず、ポストコロナにあって広範な感染症対策に必要な「感染症総論」を受講して頂く必要があり、この点を重視して座学を中心とした研修会を企画した。

まとめ

大きな問題は、文字通り「ウィズコロナ」の時代が到来し、この状態が慢性的に続いていくこと、さらに水害、蚊媒介感染症、家畜由来感染症等の発生も懸念されることにある。

平日・祭日・日中・深夜を問わない依頼に対応しさらに他の感染症の発生も想定される。感染症予防衛生隊に求められる責任の重大さに身がすくむ思いがするが、29社が力を合わせて乗り越える決意を表明したい。